

近況報告(現状と課題・取り組み)

(1) 施設福祉サービス部

① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
1. 特養の方は、今年度に入ってから体調を崩し入院されるご利用者が例年に比べて少ない。	1. 特別新しい取り組みは行っていないが、日々の状態観察や情報共有で早期対応を継続していく。

② 短期入所生活介護事業所第2 清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
1. 自施設、他施設への入所や利用の変更等で、定期的にご利用いただいていたご利用者が減少している。また、今後も入所を控えておられるご利用者が利用中である。	1. 新規ご利用者が少しずつ増えてきている状況である。新規ご利用者の定着に向けたアプローチを行い、また、居宅支援事業所へ空き状況を発信していき、稼働率の回復を図っている。

③ ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
1. 二人部屋が昨年度末より一室空き室となったままであり、待機者の方に入居意向確認をするが、現在のところ入居には至っていない。	1. ケアハウスのパンフレットの見直しを行い、新しいパンフレットが8月末に完成した。このパンフレットを待機者に配布し、意向確認して待機者の順番等の整理を早急に行う予定。また、地域の方々や居宅介護支援事業所等に配布、廿日市高齢者ケアセンターのホームページの更新等、広報活動を行う。

(2) 在宅福祉サービス部

① デイサービスセンター第2 清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
1. 前回稼働率が低迷している旨説明させていただいたが、徐々に登録者も増え、9月からはほぼ満員状態となる。その分、様々な状態像のご利用者が混在している状況がより顕著となっている。	1. 今後は状態に合わせて、それぞれのご利用者が過ごしやすい環境を整備する必要があり、現在検討をしている。

② デイサービスセンター第2 清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 6月より午後からの部が開催となり、現在5	1. 10月から新たに木曜日に開催する「お〜い

名の登録となっている。(午前は11名)午後からの部は数名の空きがあるためPRを行っている。	予防教室廿日市一丁目集会所」のPRと並行して、地域包括や関係居宅、斉藤脳外科へ広報を行っている。
---	--

③ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
1. 登録者は安定をしている。本町デイの目的の一つとして介護相談場所があるが、現在看板などを設置しているが訪問者はいない。	1. 同集会所で行われるサロン等への訪問を通してデイサービスを行っている職員の顔を知ってもらい訪問しやすい環境作りを行っていきたい。

④ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ)

現状と課題	取り組み
1. 8月末で現状の廿日市デイの形が終了となり、10月より新たな形(お〜い予防教室)として同曜日に開催することとなった。現ご利用者の移行先も決定し、今のところ混乱はない。	1. 10月から新たに木曜日に開催する「お〜い予防教室廿日市一丁目集会所」のPRで家族、地域の民生委員、地域包括や関係居宅、斉藤脳外科へ広報を行っている。また9月には同集会所で行われるサロンへ訪問し広報を行う予定。

⑤ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:ここの音)

現状と課題	取り組み
1. 稼働率の低迷が続いていたが、木曜日を除いては徐々に登録者が増えてきている。しかし、ご利用者が高齢になり、在宅生活を送る事が困難になってきている。例年、9月や10月頃からご利用者の入院等により稼働率が低下していく傾向にある。	1. 今年は、認知症の方が寛げる環境作りに取り組んでいる。少しでも長く在宅生活を送れるお手伝いができるよう、今後も環境整備に取り組んでいく。

⑥ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 現在、訪問型サービスAの利用者2ケースあり。今後増加見込みあり、ヘルパー間の内容理解に不安がある。	1. ヘルパー会議等で、再度共通認識する。

⑦ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 職員交代の引き継ぎはスムーズに行う事が出来た。 2. 独居や家庭の事情で、「かけはし」や成年後継人制度の利用が必要となるケースが増えてきた。	1. 介護保険外のサービスと連携がスムーズに取れるように、情報交換や事業所内での勉強会を行う。

(3)福祉総務部

① 廿日市市配食サービス

現状と課題	取り組み
1. ボランティアの高齢化と減少。 2. 配達時、弁当の汁がこぼれた件あり。	1. 社協等、包括と関係者との現状把握を行う。広報の方法等連絡会で協議。 2. 保冷剤の位置を変え配膳を行う。メニュー調整やボランティアさんにも配達時の注意点を伝える。

② 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
1. ご利用者の体調や介護保険サービス利用増で利用中止、休止、回数減となっており、訪問可能支援員が待機している。	1. 市担当課とも連絡を取りながら、やすらぎ支援事業のPRにつとめる。

③ 出張介護教室・出前コグニサイズ

現状と課題	取り組み
(出張介護教室) 1. 阿品市民センター主催の介護予防教室をシリーズで開催し、定員いっぱいの参加をいただき、好評だった。 (出前コグニサイズ) 1. 9月に大竹市社協主催で開催予定、西区からも問い合わせ有。	(出張介護教室) 1. 引き続き、阿品・阿品台地区のサロンを中心に参加させていただくとともに、先方のニーズに応じた内容を立案、提案していく。 (出前コグニサイズ) 1. PR不足により、依頼も限られているため、地域のサロンや市民センターなどにPRする。

④ その他

現状と課題	取り組み
(人材育成) 1. 今年度より指導者層研修のカリキュラムを見直した。 2. 他施設実習を進めるとともに、他施設からの実習受け入れを進めている。 (やすらぎ支援員養成基礎研修) 1. 今年度、民生委員になられた方などが希望され、定員10名のところ、11名での開講となった。しかし、受講者の体調や私用で講座を中止する方がおられ、修了者は5名となった。	(人材育成) 1. 各部署で、OJTを中心とした育成体制の充実につながる研修をすすめていく。 2. 継続して、協力関係にある他施設との連携を進めていく。 (やすらぎ支援員養成基礎研修) 1. 第2回の講座は、会場が初めてゆめタウンの市民ホールに変更となる。受講希望者を募り、修了者を確実に10名とする。

<p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度第2回目の研修を10月より開催予定。出来るだけ多くの受講者を募る。 2. 講座を修了した方が、訪問Aの就労につながっていない方が多い。 3. カリキュラムの再検討。 <p>(介護のお仕事きっかけ講座)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 廿日市市として初めての、潜在的介護職を対象とした講座を開催したが、受講者が2名という状況であり、復職支援につながる方が限られている。 <p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場体験支援 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 2か月に1回、原則土曜日に、社協大野事務所と連携して、職場体験の機会をもっている。 ◇ メンバーの生活環境の変化や、ジョブコーチの不足、活動のPR不足などの状況がある。 2. 鍋奉行活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ◇ さろん阿品や喫茶室をお貸しして、活動の機会を持っているが、メンバーの環境の変化、ボランティアの減少などもあり、親御さんの負担も増している。 <p>(カフェなかま)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 毎週木曜日に喫茶ポツポをお貸しして、500円程度のランチを提供している。 	<p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 早めに講座のPRをすすめている(市役所、市民センター、社協など)。 2. 廿日市市担当課と連携して、訪問先を増やすとともに、必要に応じて修了者に就労情報を伝える。 3. 原則、毎週水曜日の10:00~15:00の1日4時間の講座を6週にかけて、合計24時間実施する現在の在り方を、担当課や受講者の声を参考に見直しを検討する。 <p>(介護のお仕事きっかけ講座)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者の募集の在り方を見直し、出来るだけ多くの受講者を募る <p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場体験支援 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 社協大野事務所、ハーモニーメンバーと協議しつつ、一先ず、社協のホームページで活動報告として発行している紙面を掲載していく方向で調整中。(活動PR、ジョブコーチ募集につなげる) 2. 鍋奉行活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 上記の活動と同様、一先ず、社協のホームページで活動報告として発行している紙面を掲載していく方向で調整中。(活動PR、ジョブコーチ募集につなげる) <p>(カフェなかま)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 開始当初は職員向けに提供して、慣れてきた場合に食数を増やし、施設外からもきていただけるようにPRを行っている。
---	---